

古代までの日本	()組 ()番	氏 名
---------	--------------	--------

あきら君たちの学級は、「古代までの日本」の学習の終わりに、「古代とはどんな時代だったかをカードにまとめてみよう」という学習を行い、次のア・イの2つの内容をカードに記入していくことになりました。

ア まず、「政治・社会」「文化」「外国とのつながり」のいずれかに着目して
私の注目したことがら をいくつか書くこと。

イ 次に、アの内容をふまえて「A：この時代は（ ）の時代である。」と
いうように大きくまとめ、そのようにまとめた理由について「B：それは（ ）からである。」という形式で説明すること。

以下の【カード1】～【カード3】について、後の(1)～(4)の各問い合わせに答えなさい。

【カード1】 ゆうこさんのまとめたカード

<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 私の注目したことがら </div> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 政治・社会 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマト王権が成立した。 ・天武天皇のころから、①天皇を中心とする政治が行われるようになった。 ・平安時代には②藤原氏による摂関政治が行われた。 <p>→ A：この時代は、「天皇や貴族による政治が行われた」時代である。</p> <p>B：それは、ヤマト王権の成立による大王を中心とした政治の後、天皇を中心とした中央集権的な政治が行われるようになり、平安時代には、藤原氏などの貴族が政治への影響をおよぼすようになったからである。</p>
--	---

(1) 【カード1】中の下線部①を中心に、律令にもとづいて政治が行われる律令国家がつくられました。その内容として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 桓武天皇は、律令国家の新しい都として、奈良盆地北部に平城京をつくった。

イ 6歳以上のすべての人々に口分田があたえられる班田収授法により、荘園ができた。

ウ 6年ごとに戸籍がつくられ、口分田の面積に応じ調・庸などの税金が課せられた。

エ 口分田が不足してきたため、朝廷は人々の開墾をすすめる墾田永年私財法を出した。

(2) 【カード1】中の下線部②が行った、摂関政治についてまとめた次の文中の（①）（②）にあてはまる語句を書きなさい。

藤原氏は、自分の娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立て、天皇が幼いときは摂政、成長すると（①）という天皇を補佐する職について、政治の実権をにぎった。11世紀前半の（②）と、その子の頼道の頃が全盛期であった。

①		②
---	--	---

【カード2】 おさむ君のまとめたカード

私の注目したことがら
文化

- ・6世紀に仏教が日本へ伝わり、仏像や教典が百濟から朝廷におくられた。
- ・聖徳太子が建てたと言われる法隆寺は、現存する世界最古の木造建築である。
- ・聖武天皇は、東大寺に大仏を建立した。



- A : この時代は、「③」時代である。
B : それは、聖徳太子が仏教を広めようとしたことによって飛鳥文化が栄え、聖武天皇は仏教の力にたよって国家を守ろうと東大寺以外にも国分寺と国分尼寺を国ごとにつくらせたことによって天平文化が栄えたからである。

- (3) 【カード2】中におさむ君が書いていることを踏まえて、「③」に入れるべき文章を考えて記入しなさい。

この時代は、

時代である。

【カード3】 あきら君のまとめたカード

私の注目したことがら
外国とのつながり

- ・渡来人が、鉄製の農具やため池をつくる技術、須恵器や絹織物をつくる技術だけでなく、漢字や儒学、仏教なども日本に伝えた。
- ・遣隋使を送り、隋の進んだ制度や文化を取り入れ、隋だけではなく遠くインドや西アジアなどの文化も日本にもたらした。
- ・遣唐使を送り、律令などの支配のしくみや文化を取り入れ、唐の都長安にならって平城京もつくられた。



- A : この時代は、「④」時代である。

B : それは、

⑤

からである。

- (4) 【カード3】中に **私の注目したことがら** としてあきら君が書いていることを参考に、「④」に入るべき文章を考えて記入しなさい。

この時代は

時代である。

- (5) また、(4)と同じように ⑤ に入るべき文章を考えて記入しなさい。

それは、

からである。